

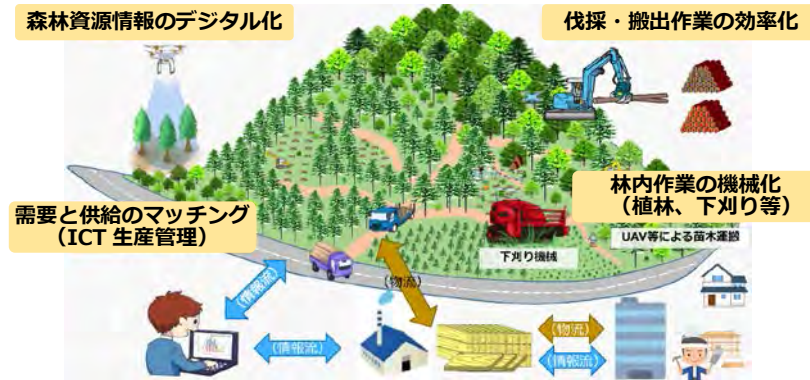
スマート林業の推進

1 目的・概要等

道内の人工林が本格的な利用期を迎える中、ICT等の先進技術の活用により、森林施業や原木の生産・流通などの効率化・省力化や需要に応じた高度な木材生産等を可能にする「スマート林業」を推進するため、産学官金による協議会における新たな技術の実証や道内での実装に向けた人材育成や導入支援、普及等を進める。

2 目標とする将来像（めざす姿）

R3年3月に策定した「北海道スマート林業推進方針」に基づき、森林の管理経営、木材の生産・流通や苗木生産、造林の各分野において、安全で働きやすく、効率的な森林施業と需要に応じた木材の安定供給が展開されるよう、ICT等の新たな技術を積極的に活用しながら、森林資源の把握から伐採、製品加工、流通までの情報をつなぐシステムを構築し、全国に先駆けて、北海道らしいスマート林業を確立することを目指す。



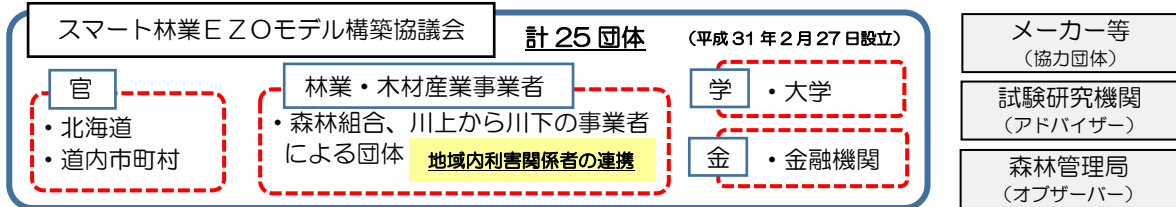
3 取組内容

(1) スマート林業 EZO モデル構築協議会による取組

市町村や大学等の参画する「スマート林業 EZO モデル構築協議会」において、川上から川下までの ICT 等の先進的な技術を活用の実証。

ア 構成員

道内市町村、森林組合、林業・木材産業関連団体、大学、金融機関、北海道など



イ 取組内容

造林から保育、森林調査、伐採、流通、加工までの情報をデジタルでつなぐ技術の検証。

- 造林（GNSS等を活用した植栽から下刈りまでの一連作業の機械化の実証など）
- 森林情報の高度利用（レーザー計測データの高度利用・UAV等による森林資源の解析など）
- 素材生産（ICTハーベスタの機能活用実証・原木運搬の効率化の実証など）
- 木材流通・加工（川上から川下までのデータ共有によるICT生産管理システムの確立など）

(2) 「スマート林業実装推進事業費」による取組

- ICT機器の効果的な使用方法等を学ぶ実践的な研修の実施
- 林業経営体等によるスマート林業の実践に向けてICT機器の導入等を支援
- スマート林業に関するシンポジウムや、全道各地で現地実演会等の実施

(3) その他

- 「衛星画像解析による森林資源情報把握事業」による、トドマツ人工林等の資源量把握
- 省力化に資する機械導入の促進に向けた先進事例の作業工程やトータルコストの調査分析・事例の普及
- 道総研と連携しUAV撮影画像と単木計測AIを活用した立木調査の試行
- 林業普及職員等による研修を通じた、UAV等の活用技術向上やICT機器等の導入効果の地域への普及

担当課・係	成長産業課スマート林業担当（内線 28-961）
	林業普及指導担当（内線 28-951）
	美唄普及指導員室（0126-66-6100）
	森林計画課計画推進係（内線 28-531）
	森林整備課造林推進係（内線 28-621）
	道有林課道有林整備係（内線 28-714）

スマート林業実装推進事業費

1 目的・概要等

道内人工林が本格的な利用期を迎える中、ICT等の先進的な技術の活用により、森林施業や原木の生産・流通などの省力化・効率化や需要に応じた高度な木材生産等を可能にする「スマート林業」の実装を推進するため、先進技術を活用できる人材を育成するための実践的な研修をはじめ、ICT機器の導入等の支援、先進技術の普及などを行う。

2 事業内容

区分	事業内容	実施方法	予算額 (千円)
先進的な技術の実証 (スマート林業EZOモデル構築協議会負担金)  デジタルデータによる木材生産管理の実証	<ul style="list-style-type: none"> 産学官金が参画する「スマート林業 EZO モデル構築協議会」における、川上から川下までの先進的な技術やデジタルデータ等を活用した、スマート林業の実証の取組を支援 	負担金	2,000
人材育成(スマート林業機器省力化研修)   下刈り機械 UAV等の研修	<ul style="list-style-type: none"> 地域において先進林業技術を活用できる林業事業体の職員などを育成するため、林業普及職員等による機器の効果的な使用方法等の実践的な現地研修を実施 (UAVや下刈り機械等を活用した森林整備の推進) ・5地域/全道 	直営	4,253
導入支援 (北海道スマート林業機器導入促進事業)   地拵え機械 丸太検知システム	<ul style="list-style-type: none"> 林業の生産性や安全性の向上を図るため、林業経営体等によるICT機器の導入等を支援 ・5,000千円未満の機器導入等を支援 ・補助率：1/2以内 	補助	49,156
普及(北海道スマート林業推進事業)   シンポジウム 現地実演会	<ul style="list-style-type: none"> 先進的な取組を進めている研究者等を招聘し、シンポジウムを実施 ・1回/年 作業の省力化や効率化に資する最新技術の現地実演会を実施 ・3地域/全道 	委託	6,787
その他	上記委託事業の実施に必要な事務	直営	3,242

区分	道単独	予算額(千円)		国	道	その他
		R7年度				
実施主体	北海道	R7年度	65,438	—	65,438	—
実施年度	R5~R7	R6年度	65,438	—	65,438	—
負担区分	道10/10 ※道費は「森林整備等 支援基金繰入金」	担当課・係	成長産業課スマート林業担当(内線28-961) 林業普及指導担当(内線28-951) 美唄普及指導員室(0126-66-6100)			